

3

53 A 221

特 許 庁

実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告

昭35-34102

公告 昭 35.12.27 出願 昭 34.4.7 実願 昭 34-20283

考 案 者 日 促 兼 佐 久 東京都目黒区宮前町197
出 願 人 不二越鋼材工業株式会 富山市石金20
社

(金1頁)

防音、防騒装置付ころがり軸受

図面の略解

図面は本考案軸受の縦断側面図である。

実用新案の説明

本考案は図面に示すように外輪1の外周に周溝2を設け、外輪1の外周面よりわずかに突出させて弾性環3を前記周溝2に嵌入させた防音防騒装置付ころがり軸受の構造にかゝるものである。

前記周溝は一条若くは数条設け、従つて前記弾性環は一本ないし数本使用する。弾性環はゴム、若くは合成樹脂製のものを採用する。なお前記周溝は断面矩形、梯形、三角形、円形等とし弾性環は溝中にある部分の断面がこれとほぼ同大、若くはやゝ大きくする。このことは軸受をハウジングに対し容易に着脱することができるけれども、弾性体と溝との間は容易に分離しないようにするためである。

なお弾性環は完全な連続環か或はピストンリン

グ状に端部を切開いたものを使用する。

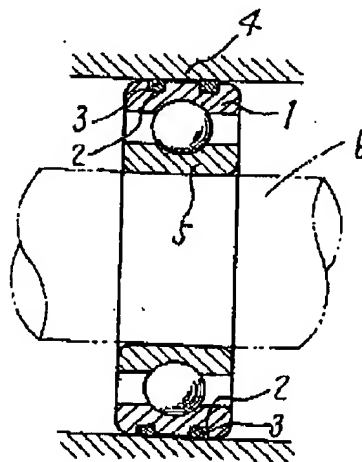
本考案は上記の構造からなるものであるから前記弾性環3はハウジング4と軸受との間において緩衝作用を営み、両者の何れかゝ主動となつて生成される振動ならびに音響が前記弾性環3のために打消される。しかも軸受とハウジングとの間のクリーブをも防止するものである。

なお軸受搬送時においても前記弾性環は滑り止めならびに緩衝作用を行ない、軸受本体を損傷しないばかりでなく、他物に衝突した場合に防音上有効である。

図中5は内輪、6は軸を示す。

登録請求の範囲

図面に示すように外輪1の外周に周溝2を設け外輪1の外周面よりわずかに突出させて弾性環3を前記周溝2に嵌入させた防音、防騒装置付ころがり軸受の構造。



BEST AVAILABLE COPY